

# 野菜・果樹・茶・花き・稻の害虫防除に

浸透移行型害虫防除剤 (フラニコチニル系)

# アルバリン<sup>®</sup>

顆粒水溶剤

<sup>®</sup>アグロ カネショウ(株)の登録商標

有効成分:ジノテフラン…20.0%

毒 性:-(毒劇物に該当しない)



詳しい製品情報は  
HPでご確認  
いただけます。



新時代をひらく  
期待の害虫防除剤。



決め手は浸透力!

好評  
発売中!

令和4年6月末現在

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稻	カメムシ類	2000倍	60~150ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内(育苗箱への処理及び剝条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
	ウンカ類、ツヤコロヨコバイ	3000倍	100~300ℓ/10a	3回以内			
	とうもろこし(子実)	ムギクリアブランシ、カメリシ類	2000倍	収穫前日まで			2回以内
	未成熟とうもろこし	アブラムシ類、カメリシ類	2000倍	3回以内			
	りんご	アブラムシ類、キモイモソガ	2000倍	2回以内			
	もも	シングルムシ類、キモイモソガ	2000倍	3回以内			
	ネクタリン	コナカイガラムシ類、カメリシ類	2000倍	4回以内(塗布は1回以内、散布は3回以内)			
	おうとう	モモチャヨキリムシ類、アブラムシ類	2000倍	3回以内			
	なし	モモハモクリガ、シングルムシ類	2000倍	4回以内(塗布は1回以内、散布は3回以内)			
	かき	カメリシ類、コナカイガラムシ類	2000倍	3回以内			
マンゴー	アブラムシ類、カメリシ類	2000倍	200~700ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内(塗布は1回以内)
	小粒核果類	アブラムシ類、カメリシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			2回以内
	オリーブ	アブラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			3回以内
	オリーブ(葉)	コナカイガラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			2回以内
	ぶどう	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			3回以内(塗布は1回以内)
	かんきつ	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			2回以内
	あけび(果実)	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			3回以内
	キウイフルーツ	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			2回以内
	びわ	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			3回以内
	かんきつ(苗木)	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			2回以内
さとうきび	ぱれいしょ	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a	2回以内	散布	3回以内
	かんしょ	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			2回以内
	さとうきび	コマダラムシ類	2000倍	200~700ℓ/10a			1回
	トマト	コマダラムシ類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			5回以内(粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
	ミニトマト	セロニアム類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			5回以内(株土混和及び灌漑は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壤混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計1回以内)
	ブロッコリー	セロニアム類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			3回以内(定植時の土壤混和及び灌漑は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ピーマン	セロニアム類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壤混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	なす	セロニアム類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壤混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	とうがらし類	セロニアム類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			3回以内(定植時の土壤混和は1回以内、散布は2回以内)
	とうがらし(葉)	セロニアム類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a			3回以内(定植時の土壤混和は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コナカイガラムシ類	20~40g/樹	発芽前~発芽期	1回	本剤1g当り水1mℓの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いで部分に塗布する。	4回以内(塗布は1回以内、散布は3回以内)
ぶどう	クビアカスカシバ	40g/樹	幼果期まで但し、収穫30日前まで			3回以内(塗布は1回以内)

△ 効果・薬害等の注意



- (1) 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきってください。
- (2) ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は、果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさせてください。
- (3) かんきつの苗床に用いる場合は、今期に収穫見込みのない苗木に対して使用してください。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理してください。
- (4) 蛍に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。
- (5) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  - ②関係機関(都道府県の農業指導部や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- (6) 本剤の使用によっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- (7) 本剤をセル苗に使用する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーボット上方から灌漑してください。また、本剤が土壤に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌漑はさせてください。なお、高温時など種子に土壤が乾燥している場合には、葉緑が退色など薬害を生じるおそれがあるので、本剤を処理する予定の苗は、適切な水分および温湿度管理に努めてください。
- (8) 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんてい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
- (9) つまみ葉・間引き葉には使用しないでください。
- (10) 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ちこまれないように、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落してください。

△ 安全使用上の注意

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。使用後は洗眼してください。
- (2) 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小兒や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄張いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

魚毒性等…・水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流れしないよう注意して使用し、散布後は水管理に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さず、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## ■適用作物と使用方法

令和4年6月末現在

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は面倒などに放置せず、適切に処理してください。

### TS22G32(Nアル類01)